

👉 感染対策施設ラウンドにおける
ここがポイント！—汚物処理室編

北九州市立八幡病院 伊藤 重彦



★感染対策ラウンドー汚物処理室 編

主な視点



- ・ 汚物処理室の整理・整頓
- ・ 出入り時の手洗い・PPE環境
- ・ 清潔不潔の境界線
- ・ 汚染物の保管、洗浄・消毒管理
- ・ 採尿・尿廃棄用物品の管理
- ・ 尿比重計の取り扱い
- ・ オムツ交換車の清潔な取り扱い
- ・ オムツ交換車積載物品の整理

汚物処理室で指摘が多い点

- ▷ 汚物室は使用後にもっとも手洗いが必要な場所
- ・ 手洗い場所に消毒薬が設置されていない (①)
 - ・ 便や尿中は微生物量が最も多く、使用器具の取り扱い、消毒方法に注意する
 - ・ 尿側、オムツの計測などはできるだけ廃止する
 - ・ 計量器 (秤) 微生物の付着が多く、消毒方法等不明瞭な場合が多いため、最も低い床近くに置いて、ユニフォームや手指に計量器が触れないようにする
 - ・ 敷物は汚染されており、廃棄して常に清掃・消毒できるようにする (②)。
 - ・ 清潔、消毒・滅菌済みの物品の近くに不潔な物品を置かない (清潔・不潔の境界が不明瞭)





機器説明書、手順書がおいてある

汚物処理室

▶ **清潔と不潔の境界は明確にする**

- ・ 汚染物を触る手袋の横に取り扱い説明書等置くのは不潔なので、保管、掲示場所を検討すること。

種々の説明書が汚染部位近くに掲示してあることが多い



秤の誤った配置の事例は、多い

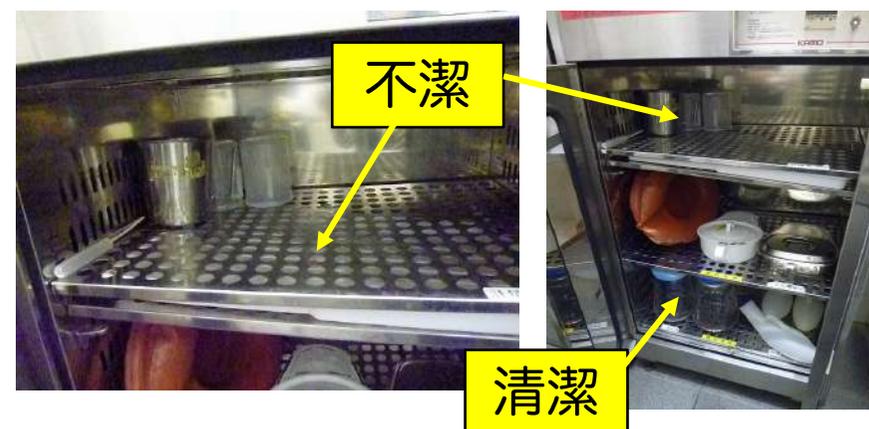
▶ **よく見かける、秤にかけてあるビニール、**

- ・ 秤に被せているビニール、蓄尿ビン用の台に敷いているビニールは取り除いて下さい。
- ・ ビニールは廃棄し、毎日清掃します。

▶ 清潔な除菌クロスと不潔な秤が、同じ高さの直ぐ近くで保管されています。**清潔・不潔の境界がなく**、除菌クロスが汚染する可能性があります。除菌クロスは清潔区域に置きましょう。

汚物処理室

・オムツ秤は、不潔です。設置場所は低い位置にしてください。
たとえばオムツ用ゴミ箱の横等に変更して下さい。



- ・便器や尿器の保管棚で、最上段が患者用の不潔な採尿カップ置き場に使われています。保管の原則は、上が清潔、下が不潔です。
- ・上段に一番不潔なものがあり、その下に消毒済みのものが保管されているという状況は大変危険です。
- ・水洗いのみの汚染したカップの水滴が滴り、水滴内の微生物が下段の物品へ伝搬していきます。病院感染の原因の一つです

採尿カップ

- ・使用方法・保管方法によっては、交差感染のリスクが高い物品です。
- ・採尿カップを患者さん自身が洗浄しており、患者の手洗い指導が必要
- ・尿器や便器洗浄の際にユニフォームが汚染する可能性が高いためPPE着用が必要ですが、PPEや手指消毒剤が設置されていません。



消毒用容器と薬品濃度について

- ・消毒用バケツについて、使用する消毒薬や濃度が不明です。
- ・薬剤名や濃度（薬液量は希釈する水の量）浸漬時間を容器に表示しておきましょう。
（例）0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液
1時間の浸漬消毒（八幡病院）

- ・八幡病院では、採尿カップは個人専用ではありません（名前が入っていない）。
- ・使用後に毎回、洗浄と消毒をするので、消毒済みの物品を患者ご家族が触っても安心です。

尿・便器の消毒管理

- ・ 使用した容器は、洗浄のみで再使用しない。
- ・ 使用した器具は、毎回消毒し十分乾燥させてから保管
- ・ すべての患者に対して、毎回、消毒済みの新しい清潔容器を使用



患者の名前がない

- ▶ 洗浄
 - ・ 手袋＋エプロン
- ▶ 消毒
 - ・ 薬液洗浄＋熱消毒
 - ・ 洗浄＋ハイター
- ▶ 乾燥・保管
 - ・ 不潔物品と同じ低い位置で保管しない

(八幡病院)



尿比重計の取り扱い

- ▷ 汚物処理室に、**尿比重計**が複数置かれていました。尿比重計は汚染度の高いものなのですが、定期的な消毒が行われていません。消毒管理しやすいように比重計の本数を減らしてください（写真A）。
- ▷ 尿比重計を保管している箱にビニールがかけられていましたが、交換時期や清掃状況が不明でした。洗浄しやすい入れ物で管理するなどの改善が必要と思われます。
- ▷ 尿比重計が洗剤や未使用のメスシリンダーの横に置かれていました。**不潔と清潔が混在している状況**です。保管場所の変更を検討する（写真B）。

以上より、尿比重計の消毒、管理方法を検討してください。



清潔と不潔が混在しています

汚物処理室

▷ 洗浄・消毒後の乾燥用に敷いているタオルをよく見かけます。

- ・週1回の交換とのことでしたが、湿ることの多いタオルの1週間使用は危険です。ペーパータオルなどを使用し、乾燥後にその都度廃棄するなど検討してください。
- ・不潔な秤がタオルの上に載っています。清潔不潔の区別がない状況です。
- ・消毒後採尿容器の乾燥場所、PPE設置場所は清潔エリアですが、近くに不潔なおムツ秤がおいてあり、清潔と不潔が混在しています。
- ・秤は床でもかまいません。保管場所の変更を検討して下さい。



- ・消毒後の尿器と消毒前の尿器やおムツ入れ、洗浄ブラシとの距離が近く、消毒後の清潔物品が汚染されやすい状況です。清潔と不潔が混在しています。

👉 オムツ交換用カートで、指摘が多い点

- ▷ オムツ交換車に積載している物品量と配置が不適切である。
- ▷ 清潔と不潔の境界が不明瞭である。上段は清潔、下段は不潔など明確に区別する。
- ▷ 清潔な物品より高い位置に不潔な物品が置かれている。
- ▷ 事前の準備が重要である。オムツ交換の途中で清潔物品を取り出すことがないように、使用するものはすべて準備しておく。



オムツ交換用カート

使用した陰部洗浄ボトルは不潔

- ・オムツ交換カートは、定期的に清掃する。
- ・オムツ交換時は、準備を十分に行い、オムツ交換カートに何度も触れないでいいように手順を変更する。
- ・オムツ交換時の手袋・エプロンは、患者毎に交換する。
- ・陰部洗浄ボトルは、1人に1個を使用し、使用毎に洗浄・消毒する（複数に使用してはいけない）。



カートの清潔エリアと不潔エリアを明確に区別する

- ・このカートは、①上段と扉の中が清潔エリア、②ゴミ箱周辺が不潔エリアと考えられる
- ・患者に使用した陰部洗浄ボトルが上段に置かれたままであり、上段の本来清潔であるべき物品が汚染している状況である。
- ・一度患者に使用した物や患者周辺に置いた物は、①の清潔エリアに戻さないこと。
- ・カートのゴミ箱は、手で押すタイプのものであるため、周辺は汚染している。ゴミを捨てた後だけでなく、ゴミ箱周囲に触れた後は、徹底的に手指衛生が必要である。



オムツ交換用カート

- ・カート内の清潔備品、不潔備品を明確に区分する。
- ・ゼリーが清潔区域に置いてあるが、患者のオムツに触れた後に使用すればチューブの周囲は汚染する。周囲の備品も汚染されますので管理に注意。
- ・複数患者に使用した陰部洗浄ボトルが、清潔ボックスに置いてある。
。浸漬消毒した未使用ボトルは清潔区域、使用後のボトルは不潔区域へ置く。
- ・ガーゼ等は患者やオムツに触れる前に、予め取り分けで患者サイドに準備しておく。
- ・患者に接した後で、清潔ボックス内の物品に触る手順を変更して下さい。



オムツ交換用カート

②オムツ交換用カートにお尻拭きとして濡れたペーパーが準備されていた。濡れた状態では細菌が繁殖しやすくなるため。必要な時ぬらして使うよう運用の改善を行う

③使用済み陰洗ボトル入れのカゴにビニールがかけられている。交換頻度が不明で、カート移動時に汚染しているカゴの内側部分を持って移動する場面が見受けられた。気づかないうちに手が汚染している可能性がある。ビニールは取り除くか、使用毎に交換する。カゴも使用毎に、清掃・消毒する。



オムツカート



- ▶ 手指衛生環境及び計画的な物品の掲載について
- ・ オムツを載せたカートにアルコール手指消毒剤がない
 - ・ 不潔なオムツ交換車に触れた後に、清潔物品を準備している
- オムツ交換までの流れを再確認し、清潔・不潔を区別すべき
- ・ 新しいオムツが山積み積載されている。このまま、患者エリアに入っているため、未使用のオムツが汚染する可能性が高い
- 使用する分のみ掲載するように、物品準備手順を改善すべき